

# 小樽税務署長賞

小樽市立北陵中学校 3年

奥名 莉乃

## 世界の税金

私がなぜこの作文を書こうと思った理由はスマホを見ている時、世界のおもしろい税金についての動画を見てとても興味がわいたので、その中でもおもしろいと思ったものをいくつか書きたいと思います。

一つ目はポテトチップス税です。ハンガリーで今もある税で、国民の肥満防止を目的としています。ポテトチップス税という名称ですが課税の対象となるのは、ケーキ・ビスケット・スナック菓子・清涼飲料水などもあって、糖分か塩分などが高い割合で含まれている食品となっています。

二つ目は渋滞税です。イギリスのロンドンにて導入されている税で今もあり、渋滞の緩和や大気汚染の解消などを目的に導入されました。その内容は区域と時間を決め、決められた時間に決められた区域を走行する車に対して、税金を課すというものです。

渋滞税の導入によりロンドンの渋滞は 30 パーセント緩和され、交通量が 15 パーセント減少していて、一定の効果が出ている税金です。

三つ目は犬税です。ドイツ・オーストリア・スイスなどのヨーロッパ諸国で導入されていて今もあり、犬を飼うと税金を払い、犬一頭につき1~2万円かかります。そのお金は犬の糞の清掃費用などに使われていて、犬の税金を設けることで人間が無責任に犬を飼わないようにすること、犬の頭数を間接的に制限するなどの目的があります。

四つ目は光るおもちゃ税です。アメリカのウエストバージニア州にあり、人を驚かす目的で作られたおもちゃに課税するというものです。花火・おもちゃの光線銃・激しく発光するもの・火花が出るものが課税対象だそうです。子供の頃から銃が身近にない環境をつくることで、銃犯罪や凶悪犯罪による犯罪率を低下させ、治安を向上させる目的もあり、実際に効果があったといわれています。

これらをふまえて税金とは、年金・医療などの社会保障・福祉や水道、道路などの社

会資本整備、教育、警察、防衛といった公的サービスを運営するための費用を賄うものですが、このような事以外にも今紹介した、ポテトチップス税・渋滞税・光るおもちゃ税のように、自国で起こっている問題解決のためにつくられた税金もあり、犬税もまた町の糞や無責任に犬を飼ったりする人も減るため、犬のためにも人のためにもなる税で、日本でも外国から来てペットとして飼われていたが、捨てられて在来種の生態系に被害を及ぼしているのも日本でもペット税のように問題解決の税を多少取り入れてみるのも、今の日本をよりよくするのではないのかと思いました。